

工業高校の魅力や各学科がどのような勉強や資格、地域貢献などの取組を行っているのか、各学科の特色を発信し、多くの方々に知ってもらうため、今年度より「工業科通信」を発刊します。

この通信をとおして、本校の魅力、各学科の特色を理解いただき、工業教育に関心を寄せていただきたいと思います。

今回は、工業技術の祭典、高校生ものづくりコンテストについて特集します。

高校生ものづくりコンテストは、全7部門で実施され、県大会、九州大会を勝ち上がり全国大会へとつながる高校生が技術・技能を競い合う大会です。

将来の「技能五輪選手」につなげようとうと、企業の技術者も大きな関心を寄せる大会であり、「指名求人」を受けることもあります。

本校では、機械科→普通旋盤作業 電気科→電気工事

建築科→木材加工・家具工芸 建設工学科→測量

の5部門に各科の代表選手が参加します。

【県大会日程】

期日：令和元年（2019年）6月16日（日）

場所：熊本県立玉名工業高等学校

1号

2019年5月20日（月）

球磨工業高等学校

工業科

【特集】ものづくりコンテスト（機械科）

旋盤作業部門課題部品図

★製作時間：2時間30分

★55項目における採点（減点方式）

【内訳】見栄え→9項目

寸法精度→25項目

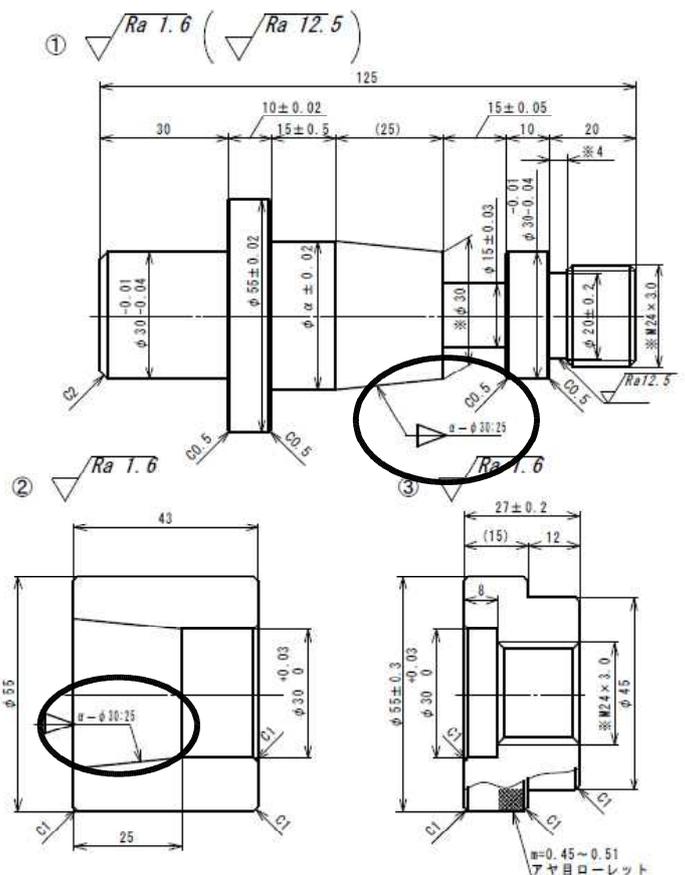
安全作業→21項目

★競技のPoint!★

①2つの支給材料から、3つの部品を作る！

②寸歩精度は、0.01~0.03mmの精度範囲を要求される！

③テーパ加工（右図記し部分）の値が当日発表され、その示された値をもとに三角関数を用いた計算により、切削値を求め加工する！



【機械科代表生徒：3MB 中村 叶 君】

これまで、作業工程を覚え、制限時間内に加工すること、寸法精度を高めるために、加工ダイヤルの目盛りと目盛りの間の切込み感覚を掴むことを中心に取り組んできました。また、工具も常にいい状態を維持しておくなど、工具管理にもとても気をつかいます。今年は、一部の加工寸法値の発表があり、計算により加工値を求め、工程も変えなければなりません。難しいですが、とてもやりがいを感じています。

県大会、九州大会を勝ち上がり、全国大会に出場できるよう頑張ります！